

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和4年11月18日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回数 1日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

| | | | | | |
|-------|-----------------------|---------|--------------|-----------|--|
| 団体名 | 矢吹町企画総務課 | 代表者名 | 佐藤 豊 | | |
| 担当者部署 | 企画・デジタル推進室 | 連絡先電話番号 | 0248-42-2117 | | |
| 担当者役職 | 副課長 | 担当者氏名 | 菅野 洋司 | 連絡先E-mail | |
| 住所 | 969-0296 福島県矢吹町一本木101 | | | | |

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

| | |
|---|---|
| アドバイザー | 金子 春雄 |
| 評価 | 大変よい |
| 上記評価の理由（どのよう なところがよ かったか等詳 細に） | Web3、ブロックチェーン等の先端技術に関する取組状況、関心状況に関するディスカッションを行った中で、事例を交えながら、ステークホルダーとの合意形成方法に関して助言いただいた。アドバイザーが関与していた団体において、2年前にブロックチェーンの導入が議題が上がった際、事業方針を決定する部長クラスに対し「決して技術は独り歩きしない」と説明をしたものの、投機対象という悪いイメージが先行し、認知がされなかったとのこと。合意形成にあたって、行政側はイメージに引きずられることなく、「この技術を使ってこういうことをする」という説明を入念に行い、「まやかしてはならない」ということをアピールを行うのが大事であるという知見を得ることができた。 |
| アドバイザーへの要望事項 | 次回のディスカッションでも、アドバイザーのこれまでの事業構想のエピソードを踏まえたアドバイスを期待しております。 |

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

| | | | | | |
|----------------|----------------|--------------|--------------|---------|----------|
| 3-1. 対応日・時間 | 派遣日予定日（応募依頼より） | 支援内容（応募依頼より） | 期日・支援内容の変更あり | | |
| | 令和4年11月17日 | 支援・助言 | 無 | | |
| | 実施した派遣日 | 実施した支援内容 | 開始時刻 | 終了時刻 | 内休憩時間（分） |
| | | | 13時00分 | 14時30分 | 0 |
| | | | | 活動時間（分） | 90 |

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

| | |
|------|---------------------------|
| 掲載許可 | <input type="radio"/> 掲載可 |
|------|---------------------------|

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

| | | |
|--|--|-----|
| 5-1. 支援を受けた対象者 | 属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】 | 人数 |
| | 職員、企業等 | 10人 |
| 5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果 | | |
| 事業の課題・問題点 （具体的にご記入下さい） | Web3、ブロックチェーン等の先端技術の導入にあたって、ステークホルダーとの合意形成をどのように行っていけばよいか | |
| 支援により目指す成果 （具体的にご記入下さい） | Web3、ブロックチェーン等の先端技術の導入にあたって、ステークホルダーとの合意形成の道筋を立てられること。 | |
| アドバイザーに支援を受けた内容 （具体的にご記入下さい） | Web3、ブロックチェーン等の先端技術に関する取組状況、関心状況に関するディスカッションを行った中で、事例を交えながら、ステークホルダーとの合意形成方法等に関して助言いただいた。個人の活動履歴は、これまで一部のITプラットフォームに集約されることがメインであったが、先端技術の活用により、活動履歴を可視化することができ、評価が属人的にならず、誤解無く分かり合うことができる。先端技術の導入を「活動履歴（個人の情熱、経験）の可視化の手段」として捉えることが重要。 | |
| 支援を受け改善又は解決された内容 | Web3、ブロックチェーン等の先端技術の導入にあたって、ステークホルダーとの合意形成にあたって、先端技術は「まやかしてはならない」と「技術を使ってこういうことをする」という説明を | |

| | | |
|---|--|-------------------------|
| (具体的にご記入下さい) | では、ブロックチェーンは「まやかしではない」として、「技術を活用して新しいビジネスをやる」という説明を丁寧にやっていく必要があると整理できた。またブロックチェーンはその真正性の高さから、個人の意欲や活動履歴を証明するツールとして最適であることが理解できた。 | |
| 具体的な成果物 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい。 | ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない |
| 改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください) | 町としてブロックチェーン等を活用していくにあたっての具体的なユースケースの検討 | |
| アンケートの内容と分析結果 | 講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 ディスカッションが目的であったため。 | |
| 5-3. 今後の計画 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい | ②次年度に予算化を図り推進する |
| 事業の最終的な目指す姿 | | |

未記入のセルがあります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認ください。
なお、〈その他〉を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



